

令和5年10月13日開催
調 査

総務教育常任委員会資料

○調査事件4 福島商業高等学校の魅力化について

教育委員会

調査事件4 福島商業高等学校の魅力化について

1 福島商業高校の現況について

令和5年度までの福島商業高校への入学者は表1のとおりです。

北海道教育委員会の基準では2年連続10名未満の場合は募集停止という基準がありますが、令和5年度入学者は9名で、次年度において10名未満だった場合は募集停止となり、道立高校としては存続できないこととなります。

ここ数年間非常に厳しい状況が続くことが予測されたため、令和3年度に福島町青少年交流センターの建設を決定し、令和4年度からは「地域みらい留学」に参画し全国募集を開始しました。

また、福島商業高校では、地域のことを深く学ぶ地域課題探求学習やICT教育、社会に出てから役立つ資格の取得など、教育課程の面においても魅力化を進めてきたところです。

全国募集初年度の令和5年度には、東京都及び熊本県から4名が入学し、福島町での高校生活をスタートしております。

表1 福島商業高校入学者の推移

区分(年度)	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
福島中卒業者①	32	31	24	26	22	20	14	11
福島商業校入学者	23	14	12	8	11	10	9	
町内から②	16	11	8	5	8	6	4	
町外から(道外)	7	3	4	3	3	4	5(4)	
町内入学率②/①	50.0	35.5	33.3	19.2	36.4	30.0	28.6	

2 令和5年度の主な取り組みについて

(1) 福島商業高等学校教育振興会事業について

令和5年4月26日に福島商業高等学校教育振興会の総会を開催し、今年度の事業計画について確認し、効果的なPR方法などご意見をいただき、事業に反映したところです。現在までの取り組み状況については、次のとおりとなっています。

①学校PR活動事業

ア. ホームページでのPR

令和4年5月に「みなみ北海道ふくしま留学」として開設し、福島商業高校や福島町の魅力をPRしていますが、新たな情報を随時更新するとともに、「福商ログ」により最新の行事予定や取り組み状況などについて情報発信しております。

イ. 地域みらい留学

全国の33道県105校が集う地域みらい留学のオンライン説明会が6月から8月まで開催され、計3回(6日間)参加しております。「地域みらい留学の青春」、「特徴的・探求的な学び」、「6分間説明会」に参加し、全学年の生徒が福島商業高校の魅力をPRしました。

7月30日に初めて札幌市で開催した町単独での学校説明会には、7名の中学生の参加がありました。

また、9月23～24日に東京都で全国の高校が集まり開催された合同学校説明会では、2日間で17名の中学生が福島商業高校のブースを訪れました。

初年度だった前年と比べ2年目の今回は、札幌市・東京都での説明会共に大きな手ごたえを感じたところです。



(新潮学舎からオンライン説明)



(道新プラザで教育長説明)



(東京都での合同学校説明会)

【高校・学校説明会参加者の中学生数】

NO	月日	内容	中3			中1・2			合計
			道外	道内	小計	道外	道内	小計	
1	6/10～11	オンライン説明会	7	1	8	0	0	0	8
2	7/22～23	オンライン説明会	7	0	7	1	1	2	9
3	8/26～27	オンライン説明会	1	0	1	0	0	0	1
4	7/30	札幌学校説明会	0	5	5	0	2	2	7
5	9/23～24	東京学校説明会	10	0	10	7	0	7	17
合計			25	6	31	8	3	11	42

ウ. 学校紹介パンフレット等作成

今年度の学校紹介ポスターが7月に完成し、町内主要施設、企業等にご協力をいただき、掲出しているところです。

さらにA4カラーで6ページのパンフレットを3,500部作成し、道内全中学校、全市町村教委、道外都府県及び政令指定都市に配布したほか、近隣町の学校等を訪問し、関係者にPRしています。

エ. 学校紹介広告宣伝

6月から9月まで下記のとおり計8回、北海道新聞社と協力し、札幌市での学校説明会をはじめ、10月7日に開催したオープンキャンパスを新聞に広告を掲載しました。

また、高校教育振興会で提言いただいたWEBでの広告を7月16日～7月29日まで展開し、福島商業高校のPRを行いました。

(広告クリック1,423件)

【新聞広告一覧】

(単位：万部)

NO	月日	対象地域・サイズ	内容	部数
1	6.29	札幌本社版 5段 1/2	A	48
2	7.6	札幌本社版 2段 1/4	A	48
3	7.12	札幌本社版 2段 1/4	A	48
4	7.16	全道版・テレビ欄	AB	82
5	7.19	札幌本社版 2段 1/4	A	48
6	7.26	札幌本社版 2段 1/4	A	48
7	9.9	札幌本社版 5段 1/2	B	48
8	9.23	函館版 5段 1/2	B	8
合計				378

※内容：A=7/30 札幌、B=10/7 オープンキャンパス

北海道福島商業高等学校
全国より生徒募集中

2023 オープンキャンパス
10/7 13:00~15:00

場所 北海道福島商業高等学校
住所/北海道松前郡福島町三岳161

オープンキャンパスをご希望の生徒と保護者1名様は
交通費・宿泊費の3/4を補助
※上限1人50,000円(1泊2食)

お問合せ先
福島町教育委員会
〒049-1392 北海道松前郡福島町字福島820番地
TEL 0139-47-3675 FAX 0139-47-3947

(9/9 札幌本社版)

北海道福島商業高等学校
全国より生徒募集中

先輩・先生が来場
直接相談できる!

2023 学校説明会
& 個別相談

日時 7/30 10:00~15:00
(最終受付14:30)

会場 道新プラザDO-BOX
(北海道新聞社1階)
住所/札幌市中央区大通西3丁目6

事前受付 不要
お好きな時間にご来場ください

2023 オープンキャンパス 10/7 13:00~15:00

日時 10/7 13:00~15:00

会場 北海道福島商業高等学校
住所/北海道松前郡福島町三岳161

オープンキャンパスをご希望の生徒と保護者1名様は
交通費・宿泊費の3/4を補助
※上限1人50,000円(1泊2食)

お問合せ先
福島町教育委員会
〒049-1392 北海道松前郡福島町字福島820番地
TEL 0139-47-3675 FAX 0139-47-3947

ふくしま留学 検索

(7/16 全道版・テレビ欄)

NHKでも取り上げられました

青少年交流センターで快適な生活を楽しんでいる生徒の様子が紹介されました。

① 6月28日 18:40~ほっとニュース函館

② 7月11日 7:45~おはよう北海道

オ. オープンキャンパス参加促進事業

10月7日に開催したオープンキャンパスには、中学校3年生が24名、それ以外の中学生3名、合計で27名が参加しました。

当日は、商業科の授業参観・参加やドローン体験、青少年交流センターの見学などを行い、福島商業高校での高校生活を体験していただきました。

オープンキャンパス参加者の約7割程度が、翌年度の入学につながると島根県の事務局では推計しており、10名以上の入学を大いに期待しているところです。

なお、オープンキャンパスに参加する旅費を、当初10組100万円の助成を計画していましたが、対象者は約2倍の21組となりました。

(渡島管内は対象外。旅費交通費の3/4以内、1人5万円、1組10万円以内)

助成金については、高校教育振興会の全体予算の中で調整することとしておりますが、今後の予算執行状況によっては、補正予算での対応も検討してまいります。

【10/7 オープンキャンパス参加の中学生数】

区分	西部4町	渡島管内 (4町以外)	道内 (渡島以外)	道外	合計
中3	3	3	10	8	24
中1・2	0	0	1	2	3
小計	3	3	11	10	27



(オープンキャンパス開会式)



(体験授業でPOP作成)



(ドローン体験)



(新潮学舎の見学)

3 令和6年度高等学校入学者選抜の日程について

令和6年度道立高等学校の入学願書受付から入学までのスケジュールは、次のとおりとなっています。1月26日の出願状況の発表により、入学予定者の見込みが判明することとなります。

No	内 容	一般の選抜	推薦の選抜
1	出願の受付	1月19日～1月24日	
2	出願状況の発表	1月26日	
3	出願変更の受付	1月29日～2月2日	—
4	面接等	—	2月13日
5	出願変更状況の発表	2月14日	—
6	合格内定の通知	—	2月20日まで
7	学力検査	3月5日	—
8	合格発表	3月18日	
9	入学式	4月8日	

4 青少年交流センターの受入状況について

(1) 入居者数の予測

青少年交流センターは個室が24室あり、現在2年生1名、1年生4名の計5名が入居しており、空室は19室という状況になっています。

10月7日開催のオープンキャンパスでは、通学を想定している渡島西部4町を除く中学3年生の参加者は21名となっています。当日、都合により欠席された方も含め、後日見学したいという希望者が4名おり、25名が関心を寄せている現況にあります。仮に、その7割が入学を希望した場合17名となり、空室は2室となりますが、17名以上希望した場合は足りなくなる恐れもあります。

また、令和6年度は大丈夫だったとしても令和7年度入学時には、新潮学舎に入居できないことが想定されます。

新潮学舎での快適な暮らしが全国募集の大きな魅力、柱となっていることから、個室棟の増築は喫緊の課題となります。

【入居者数の予測】（現在は24室）

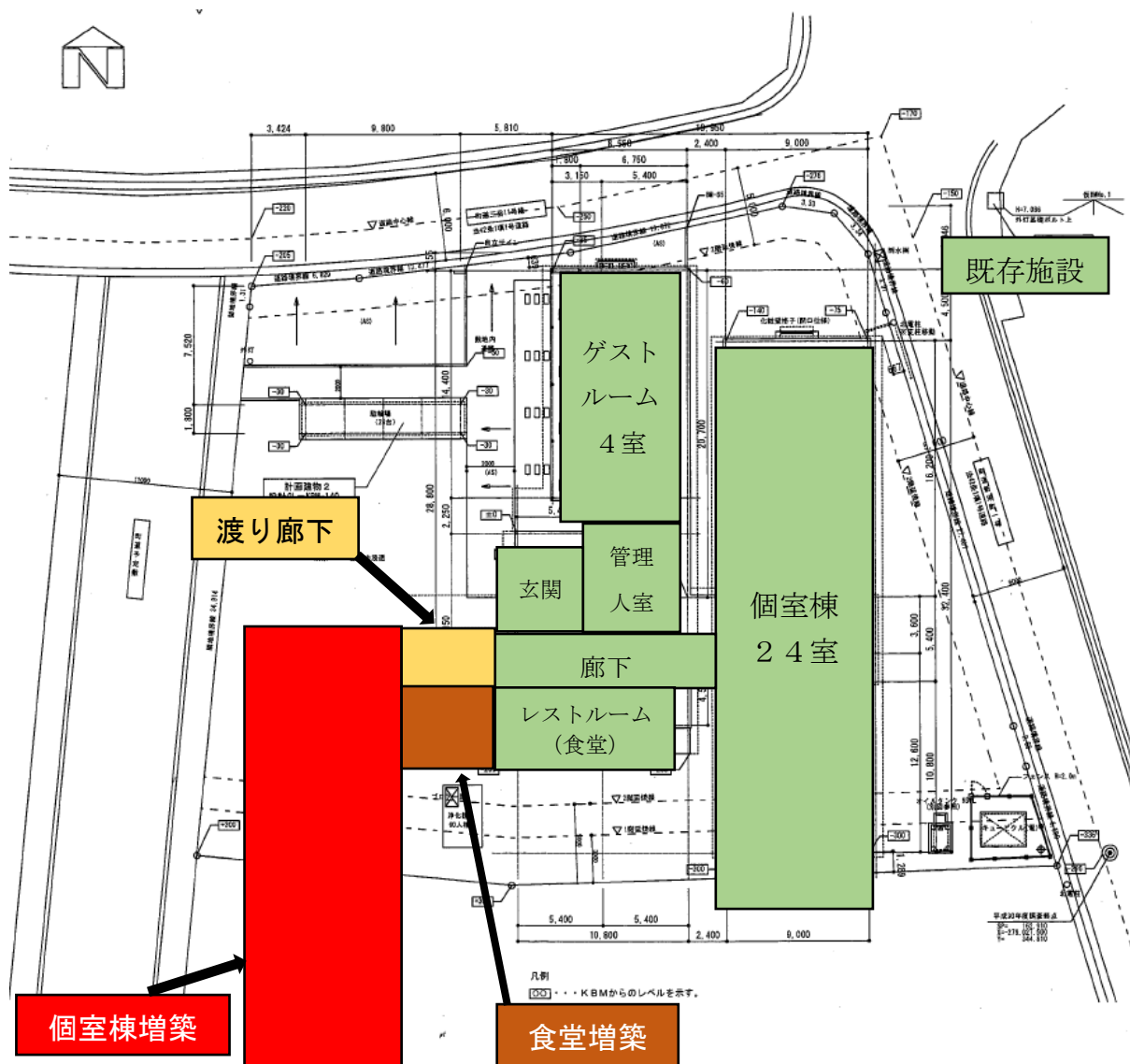
年 度	1年生	2年生	3年生	計
令和5年度	4	1		5
令和6年度	17	4	1	22
令和7年度	?	17	4	??
令和8年度	?	?	17	??

(2) 新潮学舎の増築

令和3年度に青少年交流センターの設計を依頼する際、将来的な増築を想定して土地利用を検討していただいております。

現在の建物の西側に、レストルーム（食堂）や管理人室を挟むような形で廊下を連結し、個室棟を増築する計画です。

部屋数やトイレ、風呂の数など規模については1月の出願状況を鑑み、検討していく必要があります。



(3) 増築事業に関わる課題

① 定住促進住宅整備事業との関係

個室棟を増築する場合、必要となる部屋数に応じて増築棟が南側に大きくなる事が想定され、その時には定住促進住宅用地も一部必要となります。定住促進住宅整備事業には国庫補助金及び過疎債が充当されており、今後関係機関との調整が必要となります。

②財源の確保

第1期工事は内閣府の地方創生拠点整備交付金を活用して整備しましたが、増築については本交付金の採択は不可能となります。

今後増築を想定して、補助金や有利な起債の確保について検討する必要があります。

5 むすびに

福島商業高校の存続問題は長年の課題でした。このため、令和5年入学生から全国募集を開始し、教育課程の魅力向上や、町の政策の大きな柱である青少年交流センターを整備し、生徒の確保に努めてきたところです。その成果が表れ、令和6年度には大きな変化が生まれようとしています。

ここ数年の大型事業により福島町の財政状況は厳しさを増すことが想定されますが、今この事業を進め将来のまちづくりの担い手である若者を何人かでも福島町に定住してもらうことが、「持続可能なまちづくり」に必要な不可欠なものとなります。